

## 第4回 野洲川地域安全協議会 議事概要

日時：令和3年5月6日（月）14：00～15：30

場所：WEB 会議形式

### 【出席者】

小西 近江八幡市長、辻川 草津市副市長、宮本 守山市長、野村 栗東市長、  
岩永 甲賀市長、栢木 野洲市長、生田 湖南市長、赤石 彦根地方気象台長、  
伊吹 滋賀県流域政策局長、藤田 滋賀県防災危機管理監、  
山下 滋賀県南部土木事務所長、奥山 滋賀県甲賀土木事務所長、  
矢野 琵琶湖河川事務所長

### 【議事次第】

1. 開会
2. 前回の協議会の振り返り
3. 取組方針（案）の見直しについて
4. 構成機関による主な取組内容について
5. その他情報提供
6. 閉会

### 【主な発言】

#### 議事2 前回の協議会の振り返り 議事3 取組方針（案）の見直しについて

##### ●ハード整備・瀬田川洗堰について

##### （守山市）

浸水想定区域図は1/1000 確率規模を対象として作成されているが、浸水想定区域図を踏まえてハード対策の内容についてはどのように記載しているか。また、瀬田川洗堰の操作についてはどのように記載しているか。改めてご説明いただきたい。

##### （琵琶湖）

ハード対策については、資料3の18～20頁に記載している内容を目標として進めていく方針としている。取組方針については（案）をとった後であっても、協議会の場を通じて追記・修正していくことは可能である。

瀬田川洗堰の操作については、野洲川および甲賀・湖南圏域の取組方針（案）に明記していないが、操作方法の変更等があった場合には、協議会を通じて報告させていただく。

## ●事前放流の損失補填について

(甲賀市)

取組方針の文言の追記削除を求めるものではないが、事前放流の損失補填についてお伺いしたい。損失補填については「事前放流ガイドライン」に基づいて対応することをお答えをいただいている。昨年度は、青土ダムにおいて濁水が発生し、緊急的に堤防を作り貯水する等の対応をした状況であり、損失補填について可能な限り詳細に協議を進めていく必要性を感じている。

(滋賀県)

ダムの事前放流に伴う損失補填について、最終的な決定には至っていないため今後も調整を進めさせていただきたい。

## ●対象とする確率規模について

(湖南市)

取組方針における対象確率規模を教えてください。

(琵琶湖)

浸水想定区域図については1/1000 確率規模を対象としているが、ハード対策については、整備計画規模に基づいて実施している。

(湖南市)

外水氾濫については1/1000 確率規模として野洲川流域の1日間総雨量663mmを対象としているが、内水氾濫についても同じ降雨量を対象とするのか。

(守山市)

内水氾濫については明確な対象規模は現時点では無いと理解している。国が作成している浸水想定区域図は1/1000 確率規模、滋賀県が作成している地先の安全度マップは1/200 確率規模を対象としており、住民の避難判断への活用を目的としたものであると理解している。先ほどの意見は、1/1000 確率規模でこれだけの浸水被害が発生する可能性があるというのであればハード整備のレベルも上げていくべきではないかということである。

(湖南市)

治水は河川管理者の対応であり、水防については市の対応である。河道内の対策と堤内側の避難などの対策を総合的に考えていくことが重要であると理解している。対象とする降雨量は、外水と内水で統一的に考えていく必要があるのではないかと。

(琵琶湖)

改めて確認した上で今後報告させていただく。

#### 議事 4 構成機関による主な取組内容について

意見なし

#### 議事 5 その他情報提供

意見なし

#### その他

##### (守山市)

適切な瀬田川洗堰の操作を行わなければ、琵琶湖水位および琵琶湖流入河川の水位が上昇してしまうため、引き続き適切な操作をお願いしたい。また、大戸川ダムの早期整備に向けて計画的な進捗と、野洲川の掘削についても引き続きご尽力願いたい。

##### (琵琶湖)

本日の協議会をもって、取組方針については(案)をとらせていただき、今後は実施状況を報告していくことになる。本日いただいた質問意見については、個別に構成機関と調整して、最終的には次回協議会にて全体報告をさせていただきます。

以上